

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院脳神経外科に、脳血管障害で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学脳神経外科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

脳血管障害における画像診断を用いた後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学脳神経外科学講座 学内助教 友渕 匡紀

3. 研究の目的

重度の要介護者の約30%が脳卒中患者であり、脳卒中後の後遺症に対して限られた医療資源の中でどのような対策を講じるかは社会的な重要課題です。脳血管障害の患者さんの画像評価を行うことで、治療経過や機能予後との関連を知ることができれば、より早期に治療が追加でき、予後改善や自宅退院にむけての支援となると考えます。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

脳血管障害の患者さんで、2010年1月1日以降に、脳卒中の治療（検査）を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、頭部CT、頭部MRI、血管造影に関する情報です。

(3) 方法

2010年1月1日以降に和歌山県立医科大学附属病院に入院した脳卒中患者を対象とし、和歌山県立医科大学附属病院にて施行した頭部CTや頭部MRI、血管撮影検査の結果を利用します。調査項目は年齢や性別、既往歴、常用薬、生活歴、原疾患といった患者背景、臨床症状、画像や血液などの検査情報、治療内容や治療経過とし、評価項目は画像情報の経過、臨床症状の経過、入院期間、退院または転院時・フォローアップ時の経過などについて多変量解析等を用いて解析します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

研究対象者の費用負担および研究対象者への謝礼等の支払いはありません。

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学脳神経外科学講座 担当医師 友渕 匡紀

TEL : 073-441-0609 FAX : 073-447-1771

E-mail : masaki_t@wakayama-med.ac.jp